

日本都市社会学会ニュース

NO. 64 (2003.5.9)

発行：日本都市社会学会
〒192-0397 八王子市南大沢1-1
東京都立大学人文学部
社会学科 森岡研究室内
TEL. 0426-77-2056/FAX. 0426-77-2059
(振替口座 00140-4-703976)

日本都市社会学会 第21回大会

歓迎の言葉

成蹊大学 江上 渉

久留米大学での第20回記念大会で“成人式”を迎えた日本都市社会学会、“大人”になって初の第21回大会は9月6・7日に東京・吉祥寺の成蹊大学で開催されます。

成蹊大学は、1925年に創設された旧制の7年制高等学校を母体にして、戦後の学制改革により1949年に発足しました。しかしながら、その歴史は中村春二が今村繁三・岩崎小弥太の援助を得て1906年に設立した私塾成蹊園にさかのぼることができ、学園の歴史はまもなく100年を迎えようとしております。旧制高校創設の前年に現在の武蔵野・吉祥寺の地に移転、今では成蹊のシンボルにもなっているけやき並木はこのとき植樹されたものです。まだ暑さも厳しい大会当日と思いますが、大きく枝を広げたけやきの木陰で一時をお過ごしいただければ、また新鮮な気持ちで大会の議論に参加していただけるものと思います。

最寄りの吉祥寺駅周辺は中央沿線でも有数の繁華街を形成していますが、大学周辺は閑静な郊外住宅地でもあり、緑に恵まれた比較的静かな環境です。

大会の運営には滞りのないようにつとめる所存ですが、なにぶん大会期間中はまだ夏季休業中ですので、多々ご不便をおかけすることになりそうです。この点をご容赦いただき、多くの会員のみなさまが足をお運び下さるよう、心よりお待ちしております。

1. 日本都市社会学会 第 21 回大会開催について

期 間 2003（平成 15）年 9 月 6 日（土）～7 日（日）

会 場 成蹊大学 5 号館（予定）（東京都武蔵野市吉祥寺北町 3-3-1）

2. 会場までの交通（11 頁案内図参照）

成蹊大学までの交通機関

- （1）J R 中央線・京王井の頭線 吉祥寺駅からバスまたは徒歩

【バス】吉祥寺駅北口バス乗り場①②より関東バスで約 5 分、「成蹊学園前」下車

【徒歩】吉祥寺駅北口より約 15 分

- （2）西武新宿線 西武柳沢駅からバス

西武柳沢駅南口より関東バス吉祥寺駅行きで約 20 分、「成蹊学園前」下車

羽田空港ご利用の場合

羽田空港からモノレールご利用の場合は浜松町駅から J R 山手線、京浜急行ご利用の場合は J R 品川駅から J R 山手線で J R 渋谷駅までお越しいただき、京王井の頭線に乗り換えて終点の吉祥寺駅までおいでください。または、J R 浜松町駅、J R 品川駅から J R 山手線で J R 新宿駅までお越しいただき、J R 中央線（快速）に乗り換えて J R 吉祥寺駅までおいでください。いずれの経路でも羽田空港から吉祥寺駅までの所要時間はおよそ 1 時間 30 分です。

東京駅ご利用の場合

J R 東京駅から J R 中央線（快速）で J R 吉祥寺駅までお越し下さい。ただし、「中央特快」「青梅特快」などは吉祥寺駅に停車しません。所要時間はおおよそ 30 分です。

3. 宿泊案内

吉祥寺駅・三鷹駅・渋谷駅・新宿駅の各周辺にある主なホテルをご案内いたします。是非お早めにご予約下さい（S はシングル、T はツインの料金をそれぞれ示します）。

〈吉祥寺駅周辺〉

吉祥寺第一ホテル	0422-21-4411	S:\12,500～	T:\22,000～
	武蔵野市吉祥寺本町2-4-14 (吉祥寺駅中央口徒歩5分)		
吉祥寺東急イン	0422-47-0109	S:\11,800～	T:\19,500～
	武蔵野市吉祥寺南町1-6-3 (吉祥寺駅公園口徒歩1分)		

〈三鷹駅周辺〉

三鷹シティホテル	0422-48-4111	S:\8,500～	T:\14,000～
	三鷹市下連雀3-21-5 (三鷹駅南口徒歩5分)		
西武プラザビジネスホテル	0422-55-2051	S:\7,875～	T:\11,550～
	武蔵野市中町1-14-11 (三鷹駅北口徒歩1分)		
ロイネットホテル武蔵野	0422-36-0022	S:\7,619～	
	武蔵野市中町2-4-1 (三鷹駅北口徒歩5分)		

〈渋谷駅周辺〉

渋谷東急イン	03-3498-0109	S:\13,500～	T:\20,500～
	渋谷区渋谷1-24-10 (渋谷駅東口徒歩2分)		
シャンピアホテル青山	03-3407-2111	S:\9,700～	T:\17,000～
	渋谷区渋谷2-14-15 (渋谷駅東口徒歩5分)		
渋谷シティホテル	03-5489-1010	S:\9,000～	T:\18,000～
	渋谷区円山町1-1 (渋谷駅ハチ公口徒歩7分)		
東急ステイ渋谷	03-3477-1091	S:\8,000～	T:19,000～
	渋谷区神泉町8-14 (渋谷駅南口徒歩10分)		
アフィニス イン 渋谷	03-3463-2091	S:\8,316～	T:\13,513～
	渋谷区桜丘町12-11 (渋谷駅南口徒歩8分)		
渋谷ビジネスホテル	03-3409-9300	S:\7,900～	T:12,900～
	渋谷区渋谷1-12-5 (渋谷駅東口徒歩2分)		

〈新宿駅周辺〉

ホテルサンルート東京	03-3375-3211	S:\13,500～	T:\18,000～
	渋谷区代々木2-3-1 (新宿駅南口徒歩3分)		
セントラルホテル東京	03-3354-6611	S:\11,000～	T:\17,000～
	新宿区新宿3-34-7 (新宿駅東口徒歩1分)		
ホテルヴィンテージ新宿	03-3205-6300	S:\9,500～	T:\20,000～
	新宿区歌舞伎町2-40-3 (新宿駅東口徒歩8分)		

スターホテル東京	03-3361-1111	S:\9,000～	T:\17,000～ 新宿区西新宿7-10-5 (新宿駅西口徒歩4分)
西新宿ホテル	03-5389-1010	S:\8,900～	T:\15,000～ 新宿区西新宿7-14-14 (新宿駅西口徒歩5分)
ホテルサンライト新宿	03-3356-0391	S:\8,300～	T:\13,500～ 新宿区新宿5-15-8 (新宿駅東口徒歩10分)
ホテルセント	03-3208-5201	S:\8,200～	T:\14,500～ 新宿区歌舞伎町1-21-7 (新宿駅東口徒歩6分)
新宿パークホテル	03-3356-0241	S:\7,900～	T:\13,800～ 渋谷区千駄ヶ谷5-27-9 (新宿駅南口徒歩6分)
かどやホテル	03-3346-2561	S:\7,560～	T:\11,550～ 新宿区西新宿1-23-1 (新宿駅西口徒歩4分)
シティホテルロンスター	03-3356-6511	S:\7,000～	T:\13,000～ 新宿区新宿2-12-12 (新宿駅東口徒歩10分)
新宿パレスホテル	03-3209-1231	S:\6,700～	T:\10,500～ 新宿区歌舞伎町2-8-12 (新宿駅東口徒歩8分)
ビジネス新宿サウスホテル	03-3341-3824	S:\6,500～	T:\12,000～ 新宿区新宿4-2-6 (新宿駅南口徒歩3分)
新宿タウンホテル	03-3365-2211	S:\6,500～	T:\11,400～ 新宿区西新宿7-16-15 (新宿駅西口徒歩6分)
ビジネスホテルイマネ	03-3354-3473	S:\6,400～	新宿区新宿4-4-10 (新宿駅南口徒歩3分)

会員の皆様へのお知らせ

1. 自由報告の募集

20周年記念大会での自由報告を募集します。大会当日に「自由報告要旨集」を発行しますので、自由報告申込み後に、原稿（A4版2枚分）を提出していただきます。申込み要領は以下の通りです。

(1) 自由報告申込み（6月10日締め切り）

はがきに①報告タイトル、②報告概要（100～200 字程度）、③使用機材の有無、④報告者氏名・所属、⑤連絡先（住所・電話・E メールアドレス等）を明記し、6月10日（必着）までに事務局宛で申し込んで下さい。なお、機材の使用については、会場の都合により不可能となる場合もあります。また、締め切りを過ぎたものについては受け付けできませんのでご注意下さい。

(2) 「自由報告要旨集」原稿提出（7月15日締め切り）

自由報告を申し込んだ方は、次の(A)か(B)いずれかの要領にしたがって「自由報告要旨集」の原稿を7月15日（必着）までに事務局へお送り下さい。

(A) ワープロで作成（プリントアウト）した原稿の提出

- ①ワープロによる作成（横書き）とし、分量は1行40字、1ページにつき35行程度のレイアウトでA4版2頁（厳守）とします。
- ②1頁目冒頭（用紙上端から70ミリの間）に報告タイトル、報告者所属・氏名を中央に揃えて明記して下さい。本文については、1頁目は用紙上端から少なくとも70ミリあけた位置から書き始め、2頁目は用紙上端から最低20ミリの余白を設けて下さい。用紙の下端、左端、右端のいずれも最低20ミリの余白を設けて下さい。また、ページ数は記入しないで下さい。
- ③図表等は決められた分量の中に挿入して下さい。
- ④複数名で報告する場合も1報告につきA4版2枚にまとめて下さい。
- ⑤原稿はそのまま版下として使用します。鮮明な印字（感熱紙は不可）の原稿を、折らずに汚損のないようお送り下さい。

(B) フロッピーディスク（ファイル）による原稿の提出

- ①上記(A)と同様、報告タイトル、報告者所属・氏名、本文をA4版2頁分に収めた原稿ファイル作成し、それを保存したフロッピーディスクと印刷した原稿をお送り下さい。印刷時に上記(A)と同様の体裁となるように分量を調整して下さい。
- ②ファイルはMicrosoft Windowsを基本ソフトとするパソコンで作成したものに限り、保存形式はテキスト形式、「一太郎」形式、「Microsoft Word」形式のいずれかとします。
- ③お送りいただいたフロッピーディスクは返却できません。あらかじめ御了承下さい。

自由報告申込および要旨集原稿送付の宛先：

〒192-0397

八王子市南大沢 1-1

東京都立大学人文学部社会学科森岡研究室内

日本都市社会学会事務局

2. 企画委員会報告

今期の企画委員会は、第1回、2002年9月8日（久留米大学）、第2回、11月17日（大阪大学）、第3回、2003年3月8日（立教大学）の3回にわたり、第21回大会のシンポジウム企画についての検討を重ね、「都市と環境」をテーマとする下記のような成案を得ました。また、第21回大会では、近年の報告数の増加に鑑み、第1日目の午前・午後、および第2日目の午前に自由報告部会を開催する予定です。自由報告募集の詳細は、本ニュースに掲載されていますのでそちらをご覧ください。奮ってお申し込み下さい。

（常任理事 松本 康）

シンポジウム

「都市と環境——サステナビリティとコミュニティ」

第21回大会シンポジウムは「都市と環境」をテーマとして開催する。第20回大会シンポジウム「何のための都市社会学か」の課題提起を受け、都市社会学は環境問題にどのように臨みうるのか、都市社会学の財産目録をにらみながら、建設的な議論を目指したい。

「都市と環境」という広いテーマを、今回のシンポジウムでは次の点に絞って討議したい。現在、都市ならびに社会のサステナビリティが問われている。サステナブル・シティの試みに対し、都市社会学はどのような知見をもって貢献できるのか。都市社会学の実証的視点から、具体的な事例にそくして議論したい。

また都市社会学の財産としての「コミュニティ」に関する会員の研究成果を見たとき、公害という危機を経験した都市コミュニティがどのように再生しうるかについて、事例研究の蓄積が存在する。そこで、政令指定都市・川崎と、地方都市・水俣の再生事例を取り上げることで、都市の持続可能性を具体的に描き出していこうと考えている。

シンポジウムのプログラムは以下のように予定している。報告1では中澤秀雄

会員から、成長マシーンとしての都市空間や都市的生活様式に対する批判的考察を行い、サステナビリティと都市について理論的考察を行う。報告2では原田利恵会員より、川崎の事例を中心に、公害を機にした新しいまちづくりの試みを、また報告3では丸山定巳会員より、水俣の「もやいなおし」の分析をもとに、企業・行政などもふくめた総合的なコミュニティ再生への試みを、それぞれ提示してもらおう。以上をふまえ、コメンテーターとともに、サステナブル・シティという考え方に、コミュニティの視点を関連させながら、環境科学に対する都市社会学独自のスタンス構築の可能性を模索してみたい。

- 解題** シンポジウムの意図 企画委員より
- 報告1** サステナビリティと都市空間・都市的生活様式（仮）
中澤秀雄（札幌学院大学）
- 報告2** 公害地域の再生とまちづくり（仮） 原田利恵（東京市政調査会）
- 報告3** 企業・コミュニティと公共空間の再生（仮） 丸山定巳（熊本大学）

コメント 小川全夫（九州大学）・田中重好（名古屋大学）

司会 山下祐介（弘前大学）・稲月正（北九州市立大学）

3. 編集委員会報告

編集委員会は、2002年9月8日（第1回）、10月5日（第2回）、12月7日（第3回）の計3回開かれました。『年報』第21号は、9月の第21回大会（成蹊大学）で会員の皆様に配布する予定です。

今回の年報では、昨年（第20回）大会で開催された20周年記念シンポジウム「都市社会学の現在——批判と反批判——」を特集します。報告者のみならず討論者にもご執筆いただき、両者の対話を通して「都市社会学の現在」をあらためて浮き彫りにしていただきます。

その他、例年どおり、自由投稿論文、書評論文、書評、テーマ部会報告要旨等が掲載される予定で、目下、編集作業と校正刷の作成を同時並行で進めているところです。

なお、編集委員会では、上記年報の内容に関する議題の他、今後の編集委員会のあり方についても話題になりました。すなわち、編集委員会事務局が交替するこの機会に、編集作業の部分的な外部委託の可能性を検討してみてもはどうだろうか、という問題提起です。このことについては、理事会で審議していただくことになりま

した。

最後に、『年報』に関するご意見、ご要望等がございましたら、何なりと大阪市立大学の編集事務局までお申し越し下さい。

(常任理事 谷 富夫)

4. 『日本都市社会学会年報』22号(2004年発行) 自由投稿論文・研究ノートの募集について

編集委員会では、『日本都市社会学会年報』22号(2004年発行)に掲載する「自由投稿論文」および「研究ノート」を募集しています。投稿を希望される会員の方は、『年報』第20号や『会員名簿』(2001年発行)に掲載されている編集規定、投稿規定、および執筆要項と、『学会ニュース』第63号の総会記録に記載されている関連改正事項をご覧の上、審査用原稿(3部)を 2003年11月末日までに 編集委員会事務局までお送り下さい。改正後の編集規定等は、『年報』第21号にあらためて掲載いたします。

なお、21号の発行をもって現在の編集委員の任期が終了し、それにともない編集委員会事務局も移転する予定です。原稿送付先は10月中旬に発行されるニュースでお知らせいたしますが、当面、投稿についてのお問い合わせ先は、現在の編集委員会事務局とします。会員諸氏の積極的な投稿を期待しております。

(常任理事 谷 富夫)

〒558-8585

大阪市住吉区杉本3丁目3-138

大阪市立大学大学院文学研究科社会学研究室 谷富夫 気付

日本都市社会学会編集委員会事務局

電話・ファックス 06-6605-2370 (谷研究室直通)

e-mail tani@lit.osaka-cu.ac.jp

5. 20 周年記念大会で行ったアンケートについて

昨年の 20 周年記念大会（於：久留米大学）では、会員アンケートにご協力いただき誠にありがとうございました。皆様からのご意見につきましては企画委員会で検討させていただき、大会で行う企画等の参考とさせていただきました。ご協力くださった皆様に重ねて感謝申し上げます。

事務局から

- ▲次号ニュース（No.65）は「第 21 回大会特集号」として、大会プログラム、内容紹介を中心に編集し、7 月中旬頃の発行を予定しております。
- ▲第 21 回大会の総会では、役員選挙および第 3 回日本都市社会学会賞（磯村英一記念賞）の授賞式が予定されております。